

知床の窓から見えるもの

2024年1月4日（木曜日）

あけましておめでとうございます



昨年もまた5月8日以降に5類になったとはいえ新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年で、特に5類感染症移行後には、発熱外来、PCR検査、ワクチン接種などの業務とともに入院対応も担うことになり診療所一丸となって取り組みました。

2年前と同様に院内クラスターの発生もなく診療所の入院や外来などの医療機能を維持することができたのは、職員の医療従事者としての責任感と頑張りがあったからこそ無事1年を乗り切ることができたと感じております。

もちろん、これもひとえに町民の皆様の温かいご支援とご理解、関係機関の多大なるご協力があったからこそであり、深く感謝申し上げます。今年は感染症が落ち着くことを切に願っております。

新年最初の記事を担当させていただくのは、昨年に引き続き羅臼町在住2年目の事務員です。町の方々の優しさと綺麗な空気に癒されて日々気持ちよく過ごしております。医療従事者の方で羅臼町に興味が少しでもおありでしたら、一緒に働いてみませんか。心も体もリフレッシュでき、想像よりもずっと気に入ると思いますよ。

昨年印象に残ったことは、2月3月で流氷が見れたことです。ある日は北の相泊漁港の方角に沢山の流氷が見えたので、海岸沿いに車で行ける最北端まで行ったりしました。そして、この流氷の季節に獲れるウニの美味しさと言ったら、それはもう格別です。別格です。ぜひご賞味を。

そうそう、羅臼と言えばやはり何とんでも魚介の美味しさ。お魚はもちろんのこと、エビ、カニ、羅臼昆布などなど、挙げればキリがないですが、どれもお味は一級品です。私自身、昨年は色々堪能させていただきました。

羅臼町に興味がある方はぜひぜひ一度足を運んでみてください。

さて、社会医療法人孝仁会知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営で令和5年7月に12年目を迎えました。今後も患者様が安心してかかれる、思いやりと笑顔あふれる診療所を目指していきますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

